



CNN
SPECIAL
INTERVIEW



A Demand for Truth

写真: Getty Images

ウィキペディア創設者

ジミー・ウェールズ

フェイクニュースと戦う新サイト設立

インターネット上で無料で利用できる百科事典ウィキペディア。わからないことや知りたいことを調べるときに大変便利な百科事典だが、その創設者のジミー・ウェールズ氏がこのたび、新サイト「ウィキトリビューン」を設立した。トランプ大統領の誕生以来、「フェイクニュース」という言葉が注目されるようになり、ネット上では、真偽が疑われる情報が氾濫している状況だ。ウェールズ氏が、ピューリッツァー賞受賞者のアン・アップルバウム氏とともに、新サイト設立の目的やフェイクニュースの世界的影響などについて語った。



■インタビュー／
クリスティアン・アマンプール

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期はテヘランで過ごした。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻し、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得ている。

■ジミー・ウェールズ

インターネット百科事典ウィキペディアの創設者。アラバマ州オーバーン大学を卒業後、先物取引企業にディーラーとして勤務。その後、検索エンジン会社ボームスを設立し、専門家によるネット百科事典プロジェクト「ヌーベディア」を立ち上げる。2001年1月、ラリー・サンガーと共にウィキペディアを設立。1966年、アラバマ州生まれ。



83 プロのジャーナリストと一緒に記事を作っていく

Christiane Amanpour You, as founder of Wikipedia, have sort of, like, almost a...a crowdsourcing kind of encyclopedia and now Wiki-Tribune. What are you trying to do with that? How is that designed to attack fake news?

Jimmy Wales Well, one of the things that we've seen in the world of Wikipedia is that the Wikipedia community has been very robust in not falling for fake news. As a community, they're very obsessive about trying to get it right. The classic Wikipedia debate is not about politics; it's about "Is this a good source or not?" And so, when they see these true fake-news sites, they aren't easily duped by them.

So, the idea, really, is to say, "Look, let's try and bring in a community, a strong, healthy community, and professional journalists to work together side by side to try to, you know, fact-check stories, try to

founder:
創設者、開設者
crowdsourcing:
クラウドソーシングの、マス・コラボレーションの
▶インターネットを通じて不特定多数の人に仕事を委託する、アウトソーシングの手法の一つ。
encyclopedia:
百科事典
be designed to do:
~するよう考案されている、~することを目的としている

robust:
堅固な、安定した
fall for:
~にだまされる、引っかかる
▶別冊 p.25参照
be obsessive about doing:
過剰なほどに~する、非常にこだわって~する
get it right:
(仕事などを) 正しくする、きちんとする
debate:
議論
politics:
政治
source:
情報源
dupe:
~をだます

bring in:
~を取り込む、参加させる
side by side:
一緒に、協力して、助け合って
fact-check:
~をファクトチェックする、事実検証する
story:
ニュース記事

クリスティアン・アマンプール あなたはウィキペディア創設者として、いわば、クラウドソーシング・タイプの百科事典を持っておられますが、今度はウィキトリビューンですね。それで何をしようとしているのでしょうか。どんな仕組みでフェイクニュースを攻撃するのですか。

ジミー・ウェールズ はい、ウィキペディアの世界に見られることの一つは、ウィキペディア・コミュニティがフェイクニュースに引っかかったりしないという点で、とてもしっかりと取り組んできているということです。コミュニティとして、彼らは神経質すぎるくらいきちんとやろうとしている。典型的なウィキペディアでの議論は、政治問題ではなく、「これは信頼できる情報源かそうではないか」なんです。ですから、本物のフェイクニュース・サイトを見ても、彼らは容易にはだまされません。

つまり、この目的は、実は、「ひとつ取り込んでみようじゃないか、堅固で健全な(執筆者)コミュニティとプロのジャーナリストを。両者の協力のもとで一緒にニュースの事実確認をしてもらって、報道に

強化編